

様式 1 （仕様書第 7-3）

モニタリング総合評価表（令和 7 年度）

1 施設名

安平町ときわキャンプ場

2 施設の概要

設置目的	地域の活性化を目指し、町民の健康増進とレクリエーション、観光振興を図るために設置
面積	31.4ha
主な施設	・管理棟、倉庫、案内看板、掲示板、照明、ごみ置場、炭捨て場 ・駐車場、トイレ、合併浄化槽 ・テントサイト、バンガロー、ツリーハウス ・野外炉、炊事棟 ・アスレチック遊具、ローラー滑り台、四阿 ・健康の森、ライオンズの森
開設期間	4 月 26 日から 10 月 31 日まで（休場日：1 1 月 1 日から翌年 4 月 2 8 日まで）
利用時間	・フリーテントサイト、手ぶらキャンプ、バンガロー、ツリーハウス、キャンピングカー（駐車場内）は午後 1 時から翌日午前 1 1 時まで ・BBQ コーナーは午前 1 0 時から午後 8 時まで（1 日連続 4 時間まで）

3 現指定管理者前の管理運営状況

期間	管理形態	管理受託者又は指定管理者等
令和 2 年度	業務委託	瀧本産業株式会社
令和 3 年度	業務委託	瀧本産業株式会社
令和 4 年度	業務委託	瀧本産業株式会社
令和 5 年度	指定管理	あびらアウトドアフィールド共同事業体
令和 6 年度	指定管理	あびらアウトドアフィールド共同事業体

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	指定期間
あびらアウトドアフィールド共同事業体	令和 5 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで

5 指定管理料（決算ベース）

令和 7 年度 (A)	令和 6 年度 (B)	差 (A) - (B)	増減理由
14,973 千円	14,973 千円	0 千円	

6 指定管理者が行う業務

- 1 キャンプ場の利用に関する業務
- 2 施設及び設備の維持管理に関する業務
- 3 キャンプ場の管理運営に関して町長が必要と認める業務

7 利用実績等

（１）利用実績

（単位：

人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和 7 年度 (A)	101	1192	1220	2100	3555	1282	814	0	0	0	0	0	10264
令和 6 年度 (B)	238	1171	1319	2024	4701	2196	1614	0	0	0	0	0	13263
(A)／(B)	42.4 %	101. 7%	92.4 %	103. 7%	75.6 %	58.3 %	50.4 %	0%	0%	0%	0%	0%	77.3 %
増減要因等	【利生者数減少要因】 ・悪天候にともなう宿泊者数減少 ↳2024 年度の繁忙日 66 日中、雨天は 5 日間（約 7.6%） 2025 年度の繁忙日 66 日中、雨天は 14 日間（約 21%） ※繁忙日＝土日祝および 8 月の大型連休の平日の日数の合計 ・イベントの減少および規模縮小 ↳未実施：教育フォーラム交流会（▲87 名）、早来学園炊事遠足（▲350 名） 恵庭幼稚園親子キャンプ（▲146 名） ↳規模縮小：ピーファンフェス（▲530 名）												

（２）利用料金収入

（単位：千

円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和 7 年度 (A)	173	1269	1209	2106	3954	1403	957						11072
令和 6 年度 (B)	264	1131	1395	2080	4720	2193	845						12628
(A)／(B)	65.5 %	112 %	86.6 %	101 %	83.7 %	63.9 %	113 %	%	%	%	%	%	87.6%
増減要因等	【利用料金減少要因】 ・悪天候にともなう宿泊者数減少 ↳2024 年度の繁忙日 66 日中、雨天は 5 日間（約 7.6%） 2025 年度の繁忙日 66 日中、雨天は 14 日間（約 21%） ※繁忙日＝土日祝および 8 月の大型連休の平日の日数の合計												

（３）利用料金見直しの状況

見直しの有無	見直した場合はその内容
無	

(4) 開設期間・時間の見直し等の状況（前年度と比べて）

見直しの有無	見直した場合はその内容
有	2025 年度のみ GW 期間に合わせてオープン日を 4 月 26 日に変更。

(5) サービス向上のため実施した内容

・子供向けのアウトドア体験コーナーの常設（土日祝日等の繁忙日のみ） スラックラインなどのアウトドアアクティビティ体験、薪割・マシュマロ焼き体験の実施。 ・繁忙期の整理券配布 整理券を配布することでチェックイン時間より前の長時間の待ち時間を解消。 ・飲食物の販売種類拡充 昨年販売を開始した生ビール、かき氷に加えて日本酒「あびら川」、北海道産ワイン、子供カクテルを販売。 ・野菜/わたあめ販売 安平町産野菜を主とした野菜販売を行っている町内事業者への販売場所提供。 ・イタリアンキッチンカー出店 町内事業者への販売場所提供 ・パラコードワークショップ出店 事業者への販売場所提供 ・キャンプ場内に日本酒 BAR 出店 キッチンカー出店（札幌の居酒屋『あぜうち』とのコラボ企画） ・夏限定の遊び場として巨大プールを設置 ・ミストシャワーを設置 暑さ対策として炊事場にミストを発生させるシャワーを設置。 ・ハロウィンのディスプレイ設置 利用者の思い出に残るようにハロウィン仕様のフォトスポットを設置。 ・花火エリアの明確化 花火エリアを明確に区画分けし、駐車中の車との距離を確保。

(6) その他実施した取り組み内容

・「ういきゃん。」の実施 安平町を拠点にファミリー・初心者向けに活動を行う『野窓』が開催する、ファミリー向けキャンプイベントへの場所提供。及び、アウトドア体験のコンテンツ提供。 参加者数：52 名 ・BA(e)FUN FES 2025 サウナ体験や町内事業者による飲食店の出店が行われた BA(e)FUN FES 2025 の共催および場所提供。 参加者数：65 名
--

- ・安平アウトドアお腹いっぱい体験プラン！の企画
ときわキャンプ場のレイトチェックアウト付きプラン＋野窓のサップ・テントサウナ体験を組み合わせた企画の販売。
- ・恵庭/あびら子供会キャンプ
安平町子供会が行うキャンプへの場所提供
参加者数：15 名
- ・あびーまつりへの場所提供
参加者数：46 名
- ・安平町で開催されるイベントへの参加
各種イベントに参加し、ときわキャンプ場の PR 活動を実施。
↳D51 STATION CAMP FAIR2025
↳あびら夏！うまかまつり
↳アビーウィンターフェス 2025
- ・あびらアイデアソン 2025 参加者への交流会および宿泊場所提供、焚き火体験の実施
- ・NPO 法人 North OUTDOOR Connect 野窓が開催する『サップヘン カヌー ゲートウェイ』の宣伝
キャンプ場内に設置したプールにてサップ体験を実施
- ・利用者アンケートの回収率向上のため、アンケート回答者にステッカーをプレゼント
- ・あびらチャンネルでの動画投稿
あびらチャンネルにて動画を放送し、安平町内および YouTube にて情報発信を強化。

（７）利用者の主な声及びその対応状況

- ①「消灯時間を守らない宿泊者がいる」事に対し夜間巡回にて声がけを実施
- ②「受付前の場所取りを行う宿泊者がいる」事に対し注意看板の設置、場内アナウンスや声がけを実施
- ③「受付前のリヤカー確保を行う宿泊者がいる」事に対し注意看板の設置、場内アナウンスや声がけを実施
- ④「町内の特産品を購入できるとうれしい」という声に対し野菜販売を実施
- ⑤「薪を現地で購入したい」という声に対し薪の販売を実施
- ⑥「チェックインの待ち時間が長い」という声に対し
 - i) キャッシュレス決済導入、オンライン決済導入、受付時の記入事項の簡易化にて受付時間の短縮を図った
 - ii) 区画サイトを導入し、受付時間の分散化を図った
 - iii) 整理券を配布しチェックイン時間より前の長時間の待ち時間を解消
- ⑦「自動販売機の売り切れが多い」に対し、事業者を変更し在庫の補充頻度を高くすることで解消
- ⑧キャンプ場利用者のマナー向上のため、受付前 12～13 時にマナー啓蒙音声を管理棟前に置いたスピーカーでリピート再生

8 管理運営状況（実施状況及びそれに対する評価を記入）

項目	指定管理者	町	評価
施設の目的に沿った管理運営	協定書、仕様書、管理計画書に基づいた管理運営を行った。	おおむね協定書、仕様書及び管理計画書に基づいた管理運営を実現したと認められる。	A

	地域の活性化や観光振興という点では、安平町の事業者と連携し特産品の販売やアウトドア体験プランの販売を実施。 安平町および安平町内事業者が主催するイベントへの場所提供を実施。 あびらアイデアソン参加者の焚き火体験を実施。 あびら夏！うまかまつりに出店し子供達に木工体験を提供。	特産品の販売や「あびら夏！うまかまつり」にも出店するなど、地域に根付いた取り組みは、今後も積極的に取り組んでいただくことで、地域の活性化とキャンプ場の新規顧客の確保に期待できるので、今後も継続していただきたい。	
平等な利用の確保	オンライン以外の予約を承れるよう電話での予約受付を継続して行った。	平等な利用を確保できるよう努めていると認められる。	A
利用者サービス向上の取組	来場者が快適にキャンプ場を利用できるように、受付前にマナー啓蒙音声を1時間程度リピート再生し場内ルールの周知を徹底。 夏は巨大ブルーヤミスターの設置、SUP体験を実施、秋はハロウィンのフォトスポットを設置し利用者が思い出を残せる場を設けた。	来場者からの口コミでも評価されるなど、マナー啓蒙に関しては非常に評価できる。 来場者への新たなサービスも積極的に導入しているなど、創意工夫し努めていると認められる。	A
自主事業	薪やステッカーの販売、協力事業者とのイベント開催。 認知度向上のため「D51 STATION CAMP FAIR2025」「アビーウィンターフェス2025」等町内イベントへの参加、あびらチャンネルへの動画投稿を実施。 生ビール、かき氷、あびら川等の飲食物の販売を実施。	多彩な提案を受け取り組んでおり、特に薪販売は来場者から喜ばれている。あびらチャンネルには継続的に動画投稿に協力し、新たなキャンプ人口獲得に期待できる。 キャンプ人気が低調である現在、自主事業による取り組みが不可欠であり、継続していただきたい。	A
職員・管理体制	常勤職員5名、非常勤職員4名、繁忙期には本部から1～2名ほど職員を派遣。 基本的な対応やイレギュラーな事象が発生した際の相談等は問題無く対応できている。利用者アンケートにもスタッフの対応に関して「親切」「丁寧」などの声が多く寄せられている。	おおむね仕様書及び管理計画書に基づく職員配置が行われており、スタッフ対応については口コミでも高評価を得ているなど問題が無いと考える。	A
収支状況	最終的な決算において2121千円の黒字となった。自主事業においては365千円の売上となった。自主事業売上の増加に着手していきたい。	週末に悪天候が多かった事により、利用料収入が前年度比下回ってしまった天候に大きく左右されない取り組みなど検討し、新たな自主事業による売り上げを伸ばしていただきたい。	A
総合評価	前年度より多くの町内事業者と協力することでキャンプ場を有効活用いただくことができた。 毎年の啓蒙活動により、年々キャンプ場利用者からのマナーに関する苦情が減ってきている。	おおむね仕様書等の内容どおり成果があり、適正な管理運営が行われている。	A

＜評価区分＞ A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	町
施設の管理運営の課題	利用者満足度向上を目的とし物販エリアやシャワー室追加等の管理棟の改築が必要。 区画内や斜面の陥没が見られるため地盤の補強等の対策が必要。 2025年度は天候不良の影響を受け来場者数および収益が減少してしまったため、自主事業などで天候不良時の収益を補う施策が必要。	区画サイトの見直しなど、現在のニーズに合わせた整備が必要であり、指定管理者と協議し実態を踏まえて計画的に対応していきたい。 シャワー室の設置は、浄化槽の処理量不足により多額の費用を必要とするなどの課題があるため、既存施設の有効活用を検討するなどサービス向上を図りたい。